

## 5 あとがき

昭和50年7月20日から昭和51年1月18日までの予定で沖縄国際海洋博覧会が開かれ、その関連事業として人工魚礁設置計画がなされ、多くの関係者（本部漁協、本部町、県漁連、水産振興会、総合事務局、県）による協議と県水産試験場の調査結果から瀬底島の南東側海域で、主としてカツ餌料魚を対象とする人工魚礁が設置される運びとなりましたが予算といい、規模といいこれまでの魚礁設置の事業規模とは比較にならない程模大なものであり、この魚礁設置がなされれば本部町カツオ漁業はもとより、一本釣、刺網漁業等の受ける利益は相当なものと思われる。資源培養型漁場として海洋牧場の跡利用と関連させて活用でき、また人工魚礁造成のモデル的施設ともなり、今後の人工魚礁研究とあいまってサンゴ礁漁場研究に大いに役立つと思われる。

おわりにこの事業計画と調査にあたって専門的な立場から御援助していただいた水産庁東海区水産研究所増殖部の小川技官に感謝します。また本部漁協及び漁民の皆さん、マリンテック沖縄、海洋牧場の皆さんには調査期間中お世話になった。報告書作成にあたり特に感謝いたします。

(文責 久 貝 一 成)

## 参 考 資 料

1. 海 図 No 240 渡久地港付近 海上保安庁水路部
2. " SHEET 36261NW NAGO NW アメリカ
3. " " NE NAGO NE "
4. 琉球列島の自然とその保護に関する基礎的研究(1) 1973年度研究報告 池原貞雄編
5. 沖縄県水産試験場事業報告書 (改良ます網漁業試験) 昭和47年度、昭和48年度 久貝一成
6. 沖縄県本部町のカツオ釣漁業について 沖縄県水産試験場 友利昭之助
7. 水揚げ報告書 昭和49年、50年 本部漁協
8. 沖縄県漁業の動き 昭和49年 沖縄県総合事務局 農林水産部
9. 伊江水道付近潮流観測報告 昭和50年7月 第十一管区海上保安本部